

～ひとごとではなく、「自分ごと」、「みんなごと」として市  
民・行政が協働！～ “みんなごと” のまちづくり推進事業  
「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター 派遣業務  
平成 29 年度事業実施報告書

平成 30 年 4 月

事業実施者：特定非営利活動法人きょうとNPOセンター

## 1. 市民サポーター派遣業務を実施しての成果、業務の課題

～ひとごとではなく、「自分ごと」、「みんなごと」として市民・行政が協働！～“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣業務（以下、本業務）は、前年度に引き続き特定非営利活動法人きょうとNPOセンターが業務実施者として運営を行い、京都市がもっとよくなる、もっと住みやすくなるための市民による「まちづくり」の支援を目指し業務を実施した。

市民サポーターは（以下、サポーター）本年度、新たに 58 名の登録があり、前年度の登録者との合計で 119 名となった。団体への派遣実績は 12 団体で、のべ 16 名のサポーターによる 33 回の派遣を実施し、取組提案団体の課題解決や取組提案の実現へつなげるべくサポートを行った。

さらに、サポーター登録者の増加と新規の派遣依頼や取組提案の獲得を目指し、取組提案団体以外の外部向けの広報にも取り組み、6 件の新たな取組提案につながった。具体的には、民間施設でのチラシの配架や、来場者へサポーター登録を呼びかける「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター登録会の開催、各行政区で行われているカフェ事業に参加しての派遣依頼の掘り起こしなどを行った。また、登録サポーターを対象とした研修会を 2 回、登録サポーターと団体を対象とした交流会を 1 回開催した。

実施したサポートの内容としては、チラシやホームページの改善、助成金申請書の作成支援、助成金事業で実施する事業内容の充実、支援者獲得のための利害関係者との関係性分析や組織体制の見直し、事業計画策定などがあり、様々な面から団体の活動を支援することにつながった。

また、往々にして自分達の思いを前面に出しがちな団体が多い中で、サポーター派遣を受けた複数の団体が、サポーターとのミーティングなどを通して、自分たちの活動の対象となる相手側の視点を大切にする、「顧客目線の重要性」に気付いたことも、まちづくりを担う団体の成長という観点から見ると成果だと考える。

### <業務への課題認識>

本業務の運営を通して、サポーターが行う支援の範囲に課題認識を持っている。団体の課題解決や提案の実現のためには、現在実施している支援の範囲（助言）を越えて、サポーター自らが活動へ参加して作業を行うなど、もう一步踏み込んだ支援を活動範囲に付加する必要があるのではないかと考えている。また、こうした負荷のかかる支援を実施するにあたっては、謝礼を支払うべきではないかとも考えている。実際に、これまでの派遣においても、単なる助言にとどまらず、サポーターが一步踏み込んだ支援を行っている場面も見られており、このサポーター派遣制度を、より実効性の高い支援の仕組みとしていくためには、支援範囲の拡大と、それに合わせた謝礼の設定が必要と考える。

## 2. 派遣業務広報

### <実施内容>

#### (1) サポーター・派遣団体募集チラシの作成

サポーターと派遣団体の募集を呼びかける広報チラシを作成した。チラシには、サポーターが活かせるスキルや、登録（派遣依頼）から実際の派遣までの流れなどを記載するとともに、前年度に派遣を受けた団体と支援を行ったサポーターの声を、写真を交えて掲載するなど、サポーター派遣制度を視覚的に確認できるように工夫した。



#### (2) きょうとNPOセンターのホームページ内に「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣の特設ページを作成

前年度はサポーター募集の告知ページのみだったが、今年度は具体的なサポーターのスキルを紹介するページも作成した。また、サポーターの登録、団体からの派遣依頼を、サイト内の応募フォーマットから入力できるように改善を行った。



#### (3) 京都府行政書士会研修会での事業紹介

実施日：平成 29 年 9 月 12 日（火）13：30～16：30

前年度に引き続き、今年度も京都府行政書士会企業法務部主催のセミナーに参加し、前年度同様に、市民サポーター派遣制度の紹介とNPO・市民活動についての状況説明などを行った。あわせて、サポーターとして活動していただいた行政書士2名の方に実際の活動の流れや派遣ミーティングの状況などについて紹介いただいた。

#### (4) イオン洛南店での広報活動

- ・チラシの配架

イオン洛南店の店舗責任者に本業務について説明する機会をいただき、広報活動への協力を依頼したところ、店内のチラシ配架スペースにて、本業務のチラシを配架することになった。

・サポーター登録会の開催

実施日：平成 29 年 12 月 3 日（日）12：00～17：00

イオン洛南店のフロアスペースを借り、来場者へサポーター登録を呼びかける「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター登録会を行った。結果として、その日に登録者を得るには至らなかったが、来場者にサポーター募集チラシを配布することなどを通して、多くの方に本業務を広報することができた。

### 3. サポーター登録の受付

今年度、新たに 58 名の登録があり、今年度末時点のサポーター登録者数は 119 名となった。

サポーター登録者数（平成 30 年 3 月末） 119 名（一般 87 名、京都府行政書士会 32 名）

内訳：男性 79 名（一般 56 名、京都府行政書士会 23 名）

女性 40 名（一般 31 名、京都府行政書士会 9 名）

登録いただいた知識・技術・経験（重複あり）

会計	15 名（一般 6 名、書士会 9 名）
NPO 法人事務	22 名（一般 12 名、書士会 10 名）
組織診断・基盤強化	15 名（一般 11 名、書士会 4 名）
人材育成	20 名（一般 15 名、書士会 5 名）
資金調達	21 名（一般 12 名、書士会 9 名）
ボランティアマネジメント	11 名（一般 10 名、書士会 1 名）
組織マネジメント	26 名（一般 21 名、書士会 5 名）
事業マネジメント	29 名（一般 21 名、書士会 8 名）
広報	14 名（一般 8 名、書士会 5 名）
デザイン	5 名（一般 4 名、書士会 1 名）
外国語・異文化交流	4 名（一般 3 名、書士会 1 名）

## 4. 研修

### 実施内容

#### (1) サポーターへの研修

第1回：平成29年10月3日（火）19：00～21：00 サポーター研修会「スキルアップ講座」

講師：平尾 剛之（きょうとNPOセンター常務理事）

生駒 豪康（やさしいデザイン理事長）

参加：サポーター3名

プログラム内容：

- ・市民サポーター派遣制度の運営状況報告（事務局より）
- ・「NPOの現状・機能・役割について ～必要な支援とは～」

講師：特定非営利活動法人きょうとNPOセンター 常務理事 平尾剛之

- ・「サポート経験者に聞く ～サポーター派遣にあたっての心得～」

講師：特定非営利活動法人やさしいデザイン 理事長 生駒 豪康氏

第2回：平成30年3月14日（水）19：00～20：30 サポーター研修会

講師：近藤 忠裕（サポーター派遣事務局）

久留宮 共樹（サポーター派遣事務局）

参加：サポーター3名（他キャンセル2名）

プログラム内容：

- ・ケーススタディ「サポーターの実際の活動を追体験」  
“団体Aのサポート活動はこのように行われた”
- ・団体依頼紹介「サポーターから見るNPOの現状」  
“こんなお悩み抱えています”
- ・意見交換「あなたの支援を必要としている人を探します」  
“こんな解決策あるんじゃない”

### 研修会写真



#### (2) 団体・サポーター交流会

日時：1月24日（水）19：00～21：00

会場：ひとまち交流館 京都 第5会議室

参加者：18名（サポーターなど8名、団体10名）

ゲスト：（団体）

外崎 佑実氏（グローバル開発センター）

大辻 咲子氏（フリースクールほっとハウス）

（サポーター）

長谷川 大祐氏（京都府行政書士会）

河合 将生氏（office musubime）

プログラム内容：

- ・「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣制度の概略説明
- ・＜第一部＞ゲストトーク&トークセッション
- ・＜第二部＞団体サポーター交流コーナー

#### ＜第一部 ゲストトーク&トークセッション＞

第一部のゲストトーク&トークセッションでは、派遣を受けた団体から、派遣を受けるまでの経緯や依頼内容、実際の派遣の様子を紹介していただいた。また、サポーターからは、派遣の際に気が付いたことや感想、気づきなどについてお話しいただいた。参加者からの感想として、

「リアルな話を聞けて良かった。」

「サポーターの視点からの話も聞けて良かった」

「サポーターの心がけや気づきを聞くことができた」

「団体さんが利用してどうだったかを具体的に聞いたのが良かった」

「団体側のモチベーションアップしていたことが興味深かった」

「サポーターは外部からの目線で当事者の気づきをサポートすることを理解できた」

「サポーターの誠実な対応やプロ意識に感動した」

という声をアンケートから確認できた。

#### ＜第二部 団体・サポーター交流コーナー＞

団体・サポーター交流コーナーでは、まず会場内の全員が自己紹介を行い、それぞれの気になった人や近い人との交流や情報交換を行った。

サポーター交流会写真

